

お知らせ

平成31年2月20日
国土交通省中部地方整備局
岐阜国道事務所

岐阜県内建設発生土処理対策委員会（概要）

岐阜国道事務所で実施している東海環状自動車道の西回り区間の「岐阜山県第一トンネル（仮称）」（延長4,931m）の環境基準を超えるトンネル発生土の運搬方法、仮置き方法等を確認することを目的に、岐阜県内建設発生土処理対策委員会現地視察（平成30年度第2回岐阜国道東海環状案件）を2月7日に開催しました。

○参加委員（※五十音順）

所 属	氏 名
岐阜大学 工学部	神谷 浩二 教授
岐阜大学 工学部	小嶋 智 教授
岐阜大学	佐藤 健 名誉教授
岐阜大学 工学部	篠田 成郎 教授
一般財団法人 自然学総合研究所	寺尾 宏 主任研究員

○現地視察内容

【運搬方法】

- トンネル掘削土の坑内から仮置きヤードまでの運搬方法を確認
- 普通土と環境基準を超える発生土の仕分け方法について確認

【仮置きヤード】

- 舗装敷設状況、排水施設整備状況、水質モニタリング箇所の確認
- 周辺への飛散防止対策等としてのフェンス設置状況確認



トンネル坑内視察状況



仮置きヤード視察状況